

旭川市中央地区

流雪溝投雪ボランティア活動報告

～不在地主・高齢者世帯宅周辺を中心とした投雪活動～



旭川建設業協会二世会

荒井 保明

○ 盛永 喜之

旭川建設業協会二世会のご紹介

■ 二世会の概要

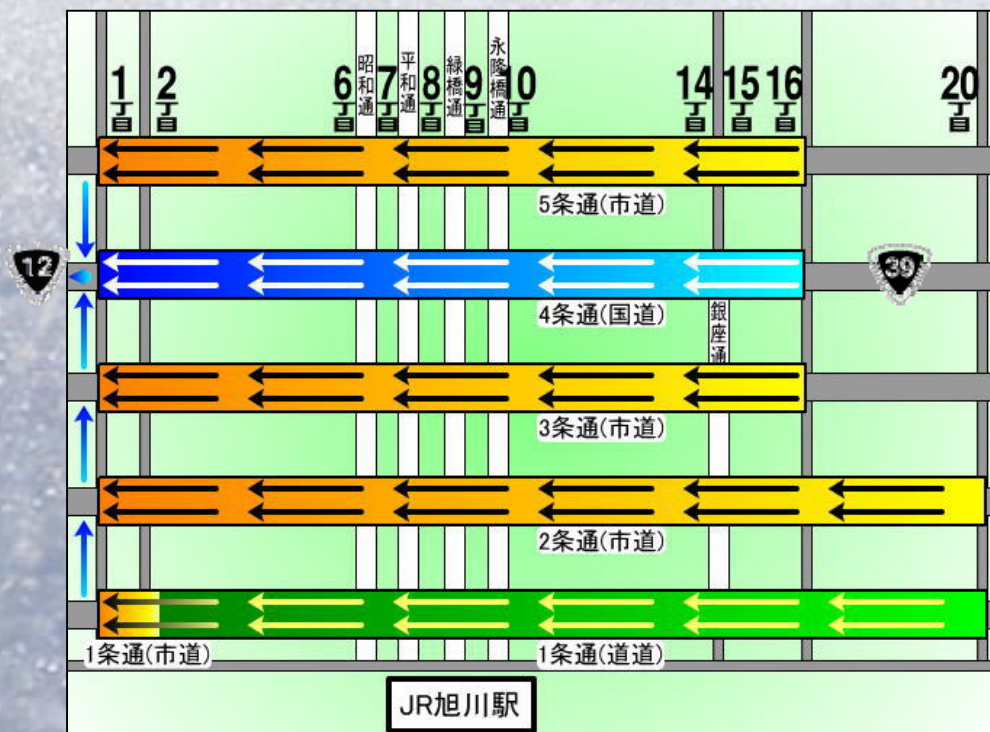
- 昭和37年発足 会員数26名

■ 二世会の目的

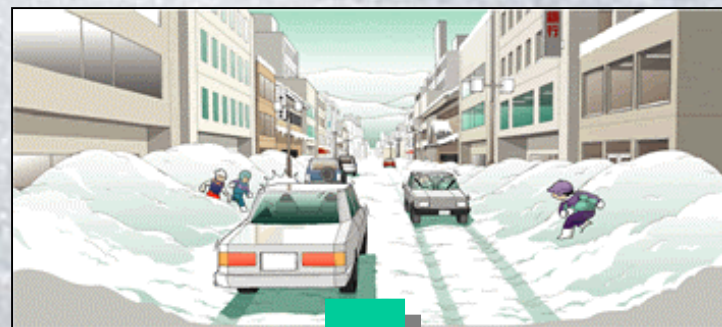
- 会員の研鑽・相互親睦を図り、業界発展を目指す
- 安全で快適な市民生活を守り育むための専門技術による貢献
- 地域のニーズを的確に捉えたなかでの建設産業の市民化を推進

旭川市中央地区流雪溝整備概要

「快適な冬のまちづくり」を目指して、国・道・市が連携を図り、市内中心部5路線に総延長約23kmの流雪溝を整備。平成7年より運用を開始。



中央地区流雪溝設置図



流雪溝イメージ図

地域住民の投雪における現状と課題

旭川市中心市街地の現状

- ➔ 中心市街地の空洞化
- ➔ 高齢化社会に伴う、高齢者の増加



地域住民の投雪における課題

投雪困難地域 の出現

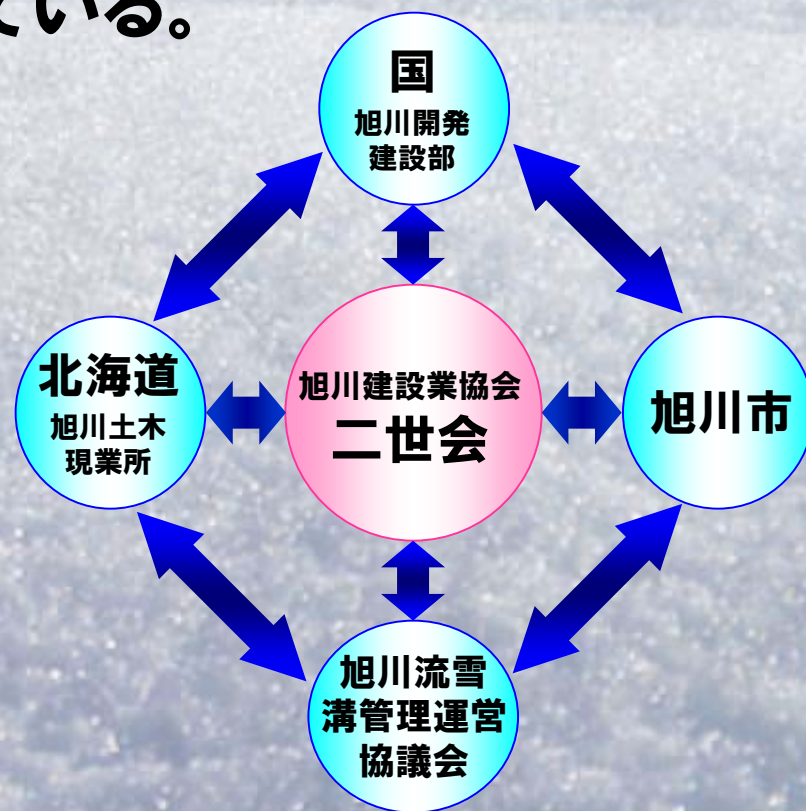
投雪ボランティアの実施概要

投雪困難地域における投排雪作業の積み残し問題を解決すべく、平成9年から、中心市街地の不在地主・高齢者及び身障者世帯・交差点等より、年平均21地点を抽出し、投雪作業を実施。



民と官が協働・連携した活動

二世会は本ボランティア活動の主催団体として、国・道・市の職員有志の方々や旭川流雪溝管理運営協議会会員の方々にも呼びかけ、**民と官が協働**で例年約100～160名体制で実施している。



効果と成果

- 視距の改善
- 交通渋滞の緩和
- 歩行障害の改善
- 排雪経費の節減
- 連帯意識の高揚
- コミュニケーションの向上



投雪作業前



投雪作業後



今後に向けて

「民と官の協働」から「地域協働」へ・・・

行政・団体・地域住民が三位一体となった

『住民参加型』の活動に